



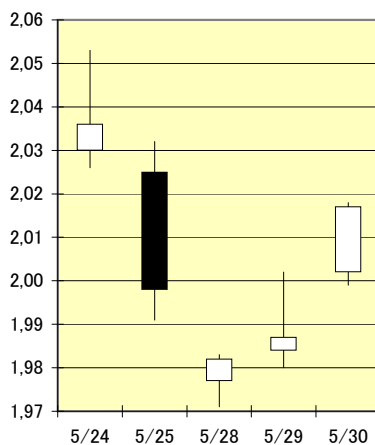
# ブラジル三菱東京UFJ銀行 DAILY MARKET REPORT

## 1. Market Rate

			5月24日	5月25日	5月28日	5月29日	5月30日	Net Chg
Forex	USD/REAL	Spot	2,0360	1,9980	1,9820	1,9870	2,0170	+0,0300
	USD/YEN	Spot	79,58	79,69	79,54	79,51	79,12	-0,40
	EURO/USD	Spot	1,2541	1,2513	1,2540	1,2498	1,2372	-0,0126
	REAL/YEN	Spot	39,09	39,88	40,13	40,02	39,22	-0,79
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	2,28	2,14	2,09	2,10	1,92	-0,18
		1Year(p.a.)	2,54	2,39	2,36	2,43	2,35	-0,08
	Real Interest	6MTH(p.a.)	8,10	8,07	8,10	8,00	7,99	-0,01
		1Year(p.a.)	8,17	8,10	8,14	8,01	7,99	-0,02
Stock	Bovespa		54.063,00	54.463,16	55.212,69	54.633,06	53.797,91	-835,15
Bond	EMBI+(bp)		225,00	225,00	229,00	229,00	236,00	+7,00
	Global 40		132,400	130,500	130,500	130,750	130,750	u,c

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

直近5営業日U\$/R\$推移



U\$/R\$ (2011/1/4~2012/5/30)



## 2. 市況、トピックス (As of mai-30)

### 【欧州の信用不安の拡大からリスク資産売りが強まり下落するも、夕刻のCOPOMを控えて午後は小幅な値動きに終始】

本日の為替相場はU\$1=R\$2.0020でオープン。オーバーナイト市場で発表された5月のユーロ圏景況感指数が2年半振りの低水準となったことやブラジル時間早朝に行われたイタリアの国債入札で発行額が目標上限を下回るなどギリシャの信用不安が他の欧州諸国にも影響を及ぼし始めていることが嫌気され、海外市場でユーロが大幅に下落。この流れを受けてレアルも寄付きから急落し、直ぐさま2.0000を割り込んだ。ここ数日でギリシャの信用不安に止まらずスペインの銀行問題が拡大するなどユーロ圏債務危機が深刻化しており市場全体が“リスクオフ”モードとなる中、リスク資産である株が全世界的に売られたほか、コモディティーも大幅に下落した。レアルも株・コモディティーの下落に連れて下げ幅を拡大し、14時前には2.0150近辺まで下値を拡大した。同水準では中銀によるドル売り介入警戒感が強いほか、本日の夕刻に50bpの追加利下げが予想されているCOPOMを控えて様子見ムードが高まる中、レアルは暫く同水準で揉み合いとなった。引け間際に本日のレアル安値となるU\$1=R\$2.0180をつけ、結局U\$1=R\$2.0170でクローズした。

尚、本日の20:05に中銀による50bpの利下げが発表され、ブラジルの政策金利 (SELIC) は史上最低の8.50%となった。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもので、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。なお、当資料の無断複製、複写、転送はご遠慮ください。当方の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、予めご了承ください。